

2024 年 9 月 2 0 日

国立印刷局の工芸官による特別講義を9/27（金）開催

～ 日本銀行券と国立印刷局工芸官の技巧 ～



筑波大学
University of Tsukuba



国立印刷局
National Printing Bureau

国立印刷局は、2024年9月27日（金）に国立大学法人筑波大学（所在地：茨城県つくば市/学長：永田 恭介）にて国立印刷局の工芸官による筑波大学芸術専門学群・芸術学学位プログラム学生を対象とした特別講義を開催します。

筑波大学での開催は初めてとなります。

【概 要】

国立印刷局が製造する日本銀行券などの原版作製では、現在でも工芸官による手仕事の中核となしており、ビュランという金属の細密彫刻に適した専用の彫刻刀が用いられます。このビュランを使いこなすには熟練を要し、長い年月と根気が必要とされます。

この特別講義において、学生は国立印刷局におけるエングレーヴィングと呼ばれる銅版画の技法（お札の肖像や文様などを銅板にビュランという特殊な工具を用いて彫刻する）を中心にセキュリティ印刷における工芸官の超絶技巧を学びます。

国立印刷局では、国民経済に不可欠なインフラストラクチャーである日本銀行券の製品設計を行っており、高度な芸術性と技能を有した工芸官の高い技術と版画技法が繋がることを、身をもって体験できる今回の特別講義は、版画やデザインを勉強した学生たちの将来のキャリアについての可能性と選択肢を広める絶好の機会となります。

また、工芸官による特別講義は、銀行券に対する国民の信頼を維持するために必要な情報として、国立印刷局が長年培ってきた工芸官の高い技術を国民の皆さんに知って頂くことを目的とした、社会貢献活動の一環でもあります。

担当教員 筑波大学芸術系 田島 直樹教授のコメント

筑波大学芸術専門学群は、国立の総合大学の中に設置された芸術の専門教育機関であり、2025 年に 50 周年を迎えます。最先端の多様な学問を学ぶことができる大学環境と、1 学年 100 名の少人数に 14 領域の多彩な芸術の専門教育を提供できる利点を生かして、幅広い見識と豊かな創造力をそなえた芸術の専門家を育成しています。

その中でも版画領域は、教員数、学生数ともに最も小さな組織です。授業では基本的 4 版種である木版画・銅版画・リトグラフ・スクリーンプリントを中心に体験し、これを基準に学生たちはさまざまな版表現に挑戦しています。デジタルの台頭によるペーパーレスの時代に、何故我々は道具と格闘しながら手作業で

版を彫り、インクまみれになりながら紙に刷っているのか、自問しながら制作する日々です。

今回、実際に銅板を彫ってお札の原版を作成されている国立印刷局の工芸官の方々の技術に触れることで、学生達にとっては版画と社会の具体的なつながりを実感する貴重な機会になると思われます。ワークショップの受講者はもちろんのこと、多くの方々に見学していただき、版画の更なる可能性を体感していただければ幸いです。

【開催詳細】

□日 時：2024年9月27日（金） （12:00～13:00 昼休み）

10:00-16:00 スライドレクチャ 「国立印刷局の事業案内紹介、工芸官の紹介」

凹版彫刻の実演 「凹版彫刻技法等の説明、エングレーヴィングの実演」

凹版彫刻の実技指導 「工芸官が学生にエングレーヴィングの実技指導」

□受講対象：筑波大学芸術専門学群・芸術学学位プログラムの学生

□場 所：筑波大学（茨城県つくば市天王台1-1-1） 芸術専門学群6A棟105教室

□アクセス：つくばエクスプレス(TX) つくばセンターでバス利用 「筑波大学西」にて下車

【取材対応】

□取材を希望される場合は、事前にお申し込みください（9月26日（木）まで）。

□取材の申込のあった方に、集合場所等や連絡事項をお伝えします。

【参考：特別講義の様子（2023年4月実施）】



〈本件に関するお問い合わせ先〉

国立大学法人筑波大学 田島研究室

(取材のお問い合わせはこちらをお願いいたします)

E-mail： tajima@geijutsu.tsukuba.ac.jp

〈工芸官に関するお問い合わせ先〉

国立印刷局 広報官室

Tel.03-3587-4211／E-mail： proffice@npb.go.jp